

すごろく 人生ゲーム

～意欲的・自主的な学習参加を目指して～

小出特別支援学校川西分校(高等部) 松本 純一

単元のねらい・目標

ゲームを通して
生活に必要な言動を
身に付ける

単元・指導の工夫①



【選択した指導内容】

あいさつ。物の渡し方、扱い方。言葉遣い。順番。信号の見方。地震・火災時の対応。お金。マーク。など

教材、支援具



評価方法

課題に対する反応をその都度評価

授業の様子

授業の流れ
ゲームの場作り
順番を決める
サイコロを交互に振る
駒を進める
課題に取り組む
ポイントをもらう
勝敗を決める
後始末をする



生徒の変容

サイコロの目を見て、自分で駒を進められた。

自分たちでゲームを進められた。

友達の様子を見て、自分の行動に取り入れられた。

準備・後始末を進んで行った。

時間いっぱい活動に取り組んだ。

物やマークを探し出せた。

成果と課題

【成果】

- 意欲的、自主的な活動になった。
- 生徒の反応を見ながら課題設定ができたので、達成感を味わいながら授業を進められた。
- 確実にできることを増やせた。

【課題】

○Aグループの学習内容から実態に合っていると思われる学習内容を選択したため、水増し教育的になってしまった。